

第Ⅲ章 奈良県道徳教育振興会議からの提言

自他の生命を尊重し、たくましく生きる子どもをはぐくむために

～学校・家庭・地域社会がつながり合って～

すべての子どもたちが、夢や希望、自他共に大切にする心をもって人生や社会を切り拓いていくこと、社会の一員としての自覚をもって心豊かにたくましく成長していくことが、わたしたちの願いです。

しかし、今、子どもたちを含め社会の中には、相手への思いやりに欠ける言動や、自他の生命を軽視するような憂慮すべき問題が存在します。そのような中で、自他のかけがえのない生命について考え、その尊さを自覚することや、自分の生き方について考え、力強く生きていこうとする心をはぐくむことがより一層求められています。

今、学校や家庭、地域社会がそれぞれのもつ役割を担いつつ互いに連携し、自他の生命を尊重し、たくましく生きる子どもをはぐくむ取組を進めることが大切です。

先生や友達とのつながりを大切にし、共に育ち合う楽しい学校に



- 教員と子どもたちの信頼関係、子どもたち相互の人間関係の充実を図りましょう。
 - ・一人一人の子どもに温かく接し、共に考え、悩み、感動を共有する姿勢を大切にしましょう。
 - ・子どもたち相互の交流を深め、共に活動する楽しさや喜びを味わわせることを通して、互いに尊重し合う人間関係を育てましょう。
- 学校の教育活動全体で行う道徳教育を一層充実させるとともに、道徳の時間を魅力あるものにしていきましょう。
 - ・保護者や地域の人々の生き方にふれ、子どもたちが自らの生き方について考えを深めることができるように、保護者や地域の人々の授業への参加や協力を積極的に求めましょう。
 - ・自他の生命のかけがえのなさ、多くの人に支えられて生きていることへの感謝などを、道徳の時間をはじめ学校教育活動全体を通じて積極的に取り上げるようにしましょう。
 - ・魅力的な資料の活用や指導方法の工夫によって、子どもの心に響く道徳の授業にしましょう。
- 子ども一人一人の自尊感情を高め、生命を尊重する心をはぐくむ環境づくりを心がけましょう。
 - ・子どものよさや成長の様子を積極的にとらえ、認め励ますとともに、子ども一人一人が大切にされると感じられるような雰囲気づくりをしましょう。
 - ・小動物の飼育や植物の栽培など、生命にふれ、生命への共感を実感できるような活動を充実させましょう。

家族のつながりを大切にし、愛情を感じる心安らぐ家庭に



- 対話とふれ合いを密にして、愛情と信頼の絆きずなを確かめ合い、深めましょう。
 - ・子どもたちが家族の中でかけがえのない存在であることを感じられる言葉がけやふれ合いを大切にしましょう。
 - ・子どもと共に、将来のことや夢を語り合しましょう。
 - ・家族で家事を分担するなど、家族の一員としてそれぞれの役割を果たしましょう。
- 日常生活の中で健康と安全に心がけるとともに、生命を尊重する雰囲気をつくりましょう。
 - ・誕生日等を利用して、子どもに生まれたときのことや成長の様子について話しましょう。
 - ・生命を実感できる様々な体験を通じて、生きることの喜びや生命を尊重する心を育てましょう。
- 一貫した態度と信念をもち、おおらかな気持ちで子どもに接することで、温かな人間関係をはぐくみ、家庭がより確かな子どもの心の居場所となるようにしましょう。
 - ・子どもの思いを受け止めるとともに、いけないことはいけないとはっきり伝えましょう。
 - ・共に行動する中で、社会生活上のルールや基本的なモラルなど、社会の中での大切なことを教えましょう。

様々な人々とのつながりを大切にし、互いに温かく支え合う地域社会に



- 地域の人々とのふれ合いを深めましょう。
 - ・笑顔であいさつや言葉を交し合うなど、人と人とのふれ合いを大切にしましょう。
 - ・異年齢の子どもたちがふれ合う場をつくりましょう。
 - ・地域の様々な活動を通して、世代を超えたつながりの輪を広げましょう。
- 子どもの社会性や豊かな人間性をはぐくむために、子どもたちに豊かで多彩な体験の機会を与えましょう。
 - ・地域の素晴らしさを肌で感じられるような活動の機会をつくりましょう。
 - ・心の絆きずなや人間関係を広げるボランティア活動を推進しましょう。
 - ・地域の自然の中で豊かな体験をする場をつくりましょう。
- 困ったり、悩んだりしている子どもたちを支えるネットワークづくりを進めましょう。
 - ・子どもの思いや願い、悩みに耳を傾け、声をかけることができる地域のつながりをつくりましょう。
 - ・PTA、子ども会、自治会など、関係団体が手を携え、子どもたちのために素早く動けるネットワークづくりをしましょう。

資 料

